

練習試合の結果

5月9日(土) 対県立浦和高校

第1試合 2対9 敗退

第2試合 途中まで

【今年の定期戦(北浦和決戦)は完敗でした】

5月10日(日)

3年生が模試だったため、1・2年生で、山梨県立都留高校にお邪魔し、都留高校・神奈川県立座間高校と試合をさせていただきました。

通算成績 16勝 8敗 4分

考查期間になります

(1学期の中間) 考查期間になりました。

1年生にとっては高校生活初めての考查になりますので、丁寧に説明させていただきます。考查は年間5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)ありますが、市高野球部は(夏大会直前の)1学期の期末考查期間以外は全体練習を行っていません。よって、今回の考查はしっかりと勉強する期間にして欲しいと思います(次の考查期間は全体練習を行いますので。。)。

注意して欲しいことがあります。

市高の考查は、火曜日から金曜日に行われることが多いのですが、私は最終日翌日の土曜日に試合を入れるようにしています。分かりますか?これは考查に取り組みながら、その後再開する野球の準備もしなさい、ということです。社会に出てもそのようなことが多いのではないのでしょうか(やるべきことの同時進行)。

学校生活の中心は勉強(授業)です。その中心が疎かになると、部活動に制限がかかります。そもそも私はそのような生徒で部の勝利を目指そうとは思っていません(勉強面で学校から認められている生徒で戦い、勝利を目指します)。

考查も野球も真剣勝負、頑張ってください!

浦和学院の存在

春の大会を役員という立場で過ごさせていただき感じたこと、それは県内では今年も浦和学院高校と花咲徳栄高校のチーム力がやや抜けた存在であること、でした。

花咲徳栄高校とは今回運良く公式戦で戦わせていただいたので、その強さを肌で感じる事が出来ました。今日は浦和学院高校(以下浦学)について書かせていただきます。

まず、浦学には敬意を表さなければなりません。今回、ウチ(市高)や県立浦和(以下浦高)が夏のシード権を獲得しましたが、これには少なからず浦学が関係していると思います。実は市高も浦高も定期的に浦学と練習試合をさせていただいているのです(浦学のメンバーは様々ですが、基本皆上手い)。これが実は大きい・・・県内他私学と公式戦で対戦することになっても、まあ浦学ほどじゃないだろ・・・みたいな感じで臨むことができるのです。

敬意ばかり表していてもダメです。

いざ戦うことになったらどうするか・・・

今年とはかく1・2番打者をどう抑えるかだと思います。1番打者の玉榮君、彼はこの春、第1打席の打率が10割だったのではないのでしょうか。それぐらいインパクトのあるバッティングをします。そして2番打者の藤澤君、彼は右打者ですが、ランナーがいる時は右方向に、いない時は引っ張って長打も打てる・・・相手からしたらとてもイヤなバッターです。この春は3・4番がそこまで当たっていませんでしたが、5番伊藤君のバッティングも脅威です(飛距離があります)。投手に関しては右投手ばかり名前が挙がっていますが、大一番の試合は左投手に任せるのではないのでしょうか(名前は伏せますが、ウチは練習試合で彼にノーヒットノーランをされました・・・)。

スペースなくなりました・・・浦学の皆さん、このあとの関東大会、頑張ってください!